



猪苗代消防署の消火体験に挑戦する来場者

多彩な体験を楽しむ

「いなわしろフェスティバル春」開催

「第3回いなわしろフェスティバル春」は6月2日、国立磐梯青少年交流の家で開かれ、多くの家族連れなどが会場を訪れました。会津・山形「体験の風をおこそう」運動実行委員会が主催し、町内外の約20団体が出展しました。会場内には、猪苗代消防署の消火・煙体験や猪苗代湖の自然を守る会のヒシの実クラフト、磐梯山ジオパーク協議会による磐梯山ジオラマ作りなどの体験コーナーが設けられ、来場者が多彩な体験を楽しみました。

中学生が熱戦を繰り広げる

北会津管内中学校体育大会総合大会

北会津管内中学校体育大会総合大会は6月5日、猪苗代、磐梯の両町で開かれ、軟式野球や卓球、バレーボールなど7競技で争われました。出場した選手たちは全会津大会の出場を懸けて熱戦を繰り広げました。

このうち軟式野球競技は楽天イーグルス猪苗代球場で行われ、猪苗代中と東中が対戦。試合は最終回の7回裏に猪苗代中が逆転し、5対4で勝利しました。



熱戦を繰り広げる選手

有害鳥獣の被害対策を学ぶ

吾妻小学校で環境学習

吾妻小学校の5、6年生の児童31人は5月30日、環境学習の一環として、野生動物の生態や有害鳥獣による被害対策について学びました。地域おこし協力隊の宮本沙綾香さんが講師となり、スライドを使って本町に生息する野生動物を紹介。また、クイズ形式でツキノワグマやニホンザルによる被害対策などを丁寧に説明しました。まとめの時間には、児童たちは「集落みんなで対策する」「生ごみを外に置かない」などの意見を出し合いました。



「私たちにできる有害鳥獣対策」を発表する児童

園児らが花の苗を植える

「花いっぱい運動」で町をきれいに

町では毎年、町内の観光施設や公共施設の緑化とイメージアップを図るため「花いっぱい運動」を実施しています。花の苗の配布は6月7日に行われ、マリーゴールドやサルビアなど6種類の花の苗約7千本が町内の観光関係団体や公共施設などに配布されました。このうち、さくらこども園では同日、さくら組の園児らが配布された花の苗をプランターに植える作業を行いました。園児たちは「大きくなあれ」と花の苗に声を掛けていました。



プランターに花の苗を植える園児



当選証書を受ける渡部氏(右)

当選の3氏に当選証書付与

町長選挙・町議会議員補欠選挙当選証書付与式

6月18日に告示された猪苗代町長選挙と町議会議員補欠選挙の当選者への当選証書付与式は6月24日、町役場で行われました。渡部榮一町選挙管理委員長が23日に投開票が行われた町長選で3選を果たした前後公氏に当選証書を手渡しました。前後氏の任期は6月26日から4年です。また、町議会議員補欠選挙で無投票当選した渡部一登氏(初当選)と佐藤悦夫氏(2期)に当選証書が付与されました。両氏の任期は令和2年2月29日までです。

教育振興の功績をたたえ

大坂恭一さんが瑞宝双光章受章を報告

春の叙勲で瑞宝双光章を受章した大坂恭一さん(新屋敷)は6月11日、町役場を訪れ、前後公町長と宇南山忠明教育長に受章を報告しました。大坂さんは昭和39年に教員となり、裏磐梯中学校や猪苗代小学校などの校長を歴任。平成12年から8年間は町教育長を務めるなど、長きにわたり教育振興に尽力されました。大坂さんは「受章は多くの町民の皆さんにご指導いただいたおかげです」と感謝の言葉を述べました。



受章を報告する大坂さん(左)

スポーツで健康増進を図る

町高齢者スポーツ大会

町高齢者スポーツ大会は6月21日、カメリーナで開かれ、町内6地区から135人が参加しました。紅組(川西地区)、白組(川東地区)に分かれて競う「玉入れ」や、ラグビーボールを棒で転がして進む「ブタ追い競争」、男女ペアで肩を組み、顔と顔でボールを挟んでゴールを目指す「君といつまでも」など8種目で争われました。参加者は、心地よい汗を流しながら、スポーツを通じて健康増進を図りました。



「ブタ追い競争」でラグビーボールを転がす参加者

自然の中を駆け抜ける

第7回ジンドュランスIN猪苗代

マウンテンバイクの3時間耐久レース「第7回ジンドュランスIN猪苗代」は6月2日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれました。ジンドュランス実行委員会が主催し、約120人が参加しました。レースは、男女別のソロや3人までのチーム、男女混合のミックス、ファミリーなど6クラスで行われ、1周約3キロの周回コースを3時間の制限時間内に周回した回数とタイムで争われました。参加者は、自然に囲まれたコースで己の限界に挑戦しました。



自然に囲まれたコースを駆け抜ける参加者